

2021WTCS 横浜大会

オペレーションマニュアル【バイク】

【TO用】

第 1.03 版

作成者	松村 一彦
作成日	2021年4月10日
最終更新日	2021年5月10日

目次

2021WTCS 横浜大会	1
目次	2
体制	3
1. TO 一覧	3
コース	7
1. コース図	7
2. エリア詳細	8
3. トイレ配置図	9
4. メディカル配置図	10
5. バイクコースタイムテーブル	11
業務詳細・留意事項	12
1. 共通事項	12
2. 各エリアのポイント	16
3. 業務別詳細および留意点	18

■略語一覧

TO	テクニカル・オフィシャル(審判員)
CTO	チーフテクニカルオフィシャル
SCTO	サブチーフテクニカルオフィシャル
ACTO	エリアチーフテクニカルオフィシャル
HR	ヘッドレフェリー
CCC	セントラルコミュニケーションセンター(緊急時の指令センター)

体制

1. TO 一覧

CTO/SCTO (ACTO) /TO 一覧

氏名		担当・役割	無線	連絡先
松村 一彦	CTO	全体統括、モーターバイク統括	○	090-4202-2505
篠原 永年	SCTO	山下公園前～山下橋手前 ACTO B1～B4	○	070-3858-1366
水越 照夫	SCTO	山下橋～新山下方面 ACTO B5～B10	○	090-3314-2672
鶴見 耕市	SCTO	本牧ふ頭 A 突堤入口～中間点 ACTO B11～B14A	○	090-8948-8476
糊澤 信	SCTO	中間点～D 突堤入口 ACTO B14B～B17	○	090-8818-2415
浅海 聡	SCTO	D 突堤内 ACTO D1～D5	○	090-8806-1166

TO 一覧および担当エリア

山下公園方面 ACTO:篠原 永年(07038581366)

氏名	担当・役割	無線	備考・備品(赤字はピクトグラム)
森高 律子	B1 折返、TRI-1 ランフィニッシュ誘導		右Uターン 看板大小 右矢印*3、 コーン連結用テープ
登坂 高志	B1 折返、フィニッシュ/周回分岐		トラメガ 減速*4
鷲塚 浩二	B1 フィニッシュ/周回分岐		フィニッシュ/周回分岐 看板大小 TIMELIMIT
長谷川 満彦	B2 スタート/周回合流		合流*2
ボランティア	B2 山下公園出入口		
水野 真之	B3 交差点入口		左折*2
中山 偉久	B4 山下橋入口、車両誘導		旗
小野 明	B4 山下橋出口、車両誘導		旗

山下橋～新山下方面 ACTO: 水越 照夫(09033142672)

氏名	担当・役割	無線	備考・備品
青木 博幸	B5 山下橋上		旗、トラメガ
前田 隆司	B7 貯木場入口横断路		旗
松村 和弥	B7 貯木場入口横断路		旗
仙台 椎良	B7 貯木場入口横断路		
稲葉 哲夫	B9 見晴橋横断路		旗
紺谷 悟司	B9 見晴橋横断路		旗

本牧ふ頭～中間点方面 ACTO: 鶴見耕市(09089488476)

名前	担当・役割	無線	備考・備品
加藤 敏弘	B11 A 突堤消防車対応		旗
櫻井 弘美	B11 A 突堤消防車対応		旗
渡辺 俊明	B11 A 突堤消防車対応		旗
浦邊 憲之	B12 本牧橋入口横断路		旗
古川 日出夫	B12 本牧橋入口横断路		旗
塚本 勝郎	B13 B 突堤入口横断路、 B 突堤消防車対応		旗
坂口 勝啓	B13 B 突堤入口横断路、 B 突堤消防車対応		旗
竹内 朝音	B13 B 突堤入口横断路、 B 突堤消防車対応		旗
酒井 光雄	B13 B 突堤入口横断路、 B 突堤消防車対応		旗
押木 雅朋	B14A クランク入口、 TRI-1 ラン折返し		右折*2、左折*2、減速*2 TRI-1 ラン折返し*2 旗、トラメガ

中間点～D 突堤入口 ACTO: 糊澤 信(09088182415)

	担当・役割	無線	備考・備品
小室 博之	B14B クランク出口		右折*2、左折*2、減速*2 段差*2(踏切用) 旗
ボランティア	B14B クランク直線部		
北岡 聡	B15 C 突堤入口横断路 車両誘導		旗
野田 将太郎	B15 C 突堤入口横断路 車両誘導		旗
TBD	B16 港湾団地前横断路、 バス停案内、車両誘導		旗
岡田 展生	B16 港湾団地前横断路、 バス停案内。車両誘導		旗
小櫃 博	B17 D 突堤入口横断路、 バス停案内		旗
宇治橋 裕俊	B17 D 突堤入口横断路、 バス停案内		旗
TBD	B17 D 突堤入口、消防車対 応		左折*2、減速*2 旗
川村 徹夫	B17 D 突堤入口、消防車対 応		右折*2、減速*2 旗

D 突堤内 ACTO: 浅海 聡(09088061166)

	担当・役割	無線	備考・備品
吉水 英雄	D1 D 突堤侵入後カーブ、 消防車対応		旗
木南 繁	D1 D 突堤侵入後カーブ、 消防車対応		旗
ボランティア	D1 カーブ後分岐標識付近		
小西 輝佳	D2 D 突堤中間カーブ		旗
ボランティア	D2 D 突堤中間カーブ		
今本 待喜子	D3 野球場付近来場者制御		旗
寺崎 敏彦	D3 野球場付近来場者制御		
ボランティア	D3 野球場付近来場者制御		
ボランティア	D4 段差付近		段差*2
浅利 峰欣	D5 D 突堤折返し		右Uターン 看板大小 右矢印*3、減速*2
古谷 勝義	D5 D 突堤折返し		コーン連結用テープ、トラメガ、旗
大根田 崇	D 突堤内周回移動バイク		移動バイク用 TO ピクト
加藤 伸之	D 突堤内周回移動バイク		移動バイク用 TO ピクト

※ D 突堤内周回移動バイク担当の方は、バイクをご持参ください。

モーターバイク

名前	担当・役割	無線	備考・備品
野間 秀樹	緊急待機・統括	○	モーターバイク用 TO ピクト、最後尾 (前後) グリーンフラッグ
今 雅利	先導	○	モーターバイク用 TO ピクト、先導(前後)
伴 伸夫	TRI-1 ラン追跡	○	モーターバイク用 TO ピクト パラ選手走行中
福渡 純	TRI-1 ラン追跡	○	モーターバイク用 TO ピクト パラ選手走行中
西廣 晴光	TRI-1 ラン追跡	○	モーターバイク用 TO ピクト パラ選手走行中

備品一覧 (赤字はピクトグラム)

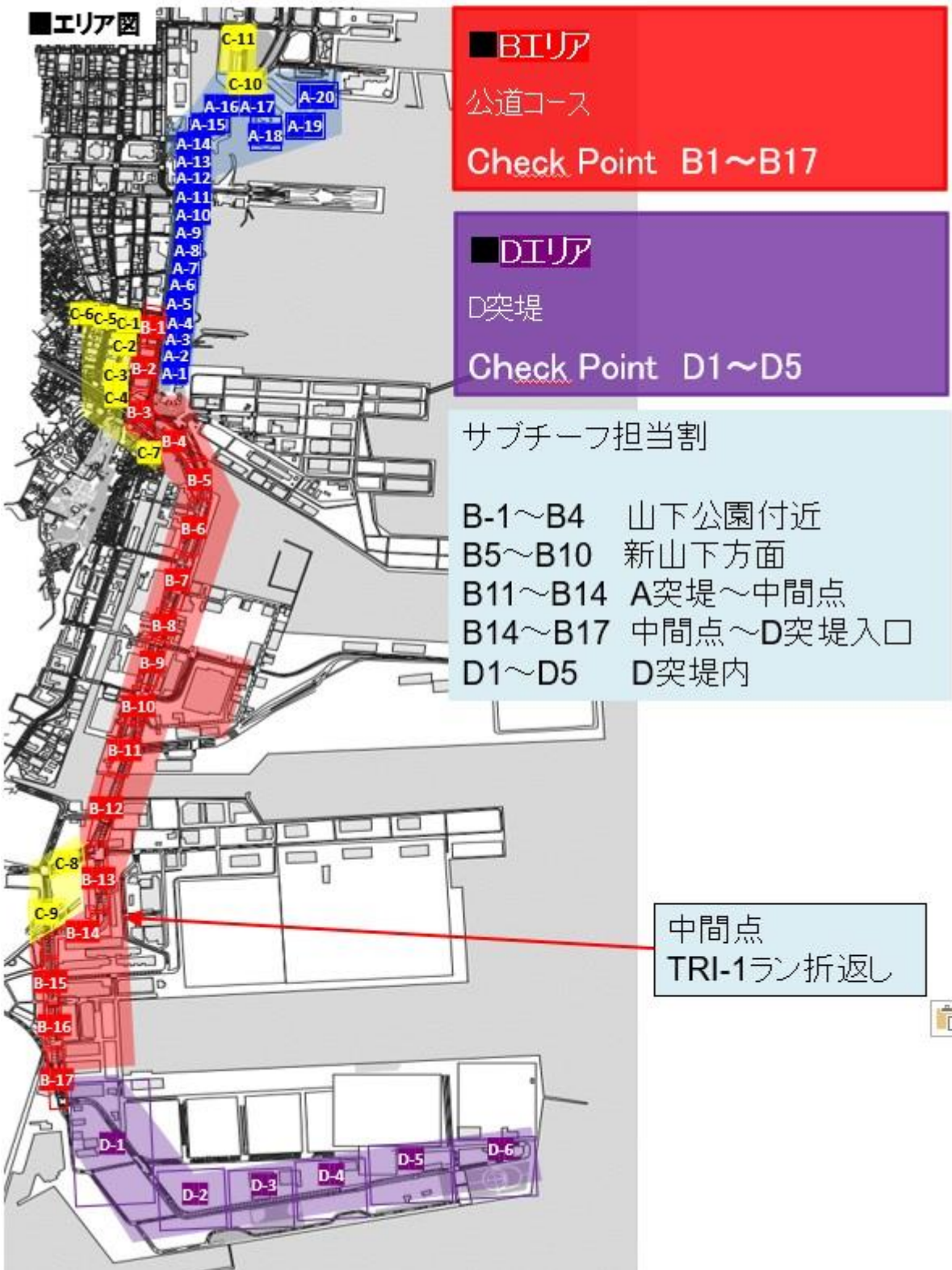
備品名	数(予定)	備考
周回分岐看板	大小各1	
合流注意	2枚	
TIME LIMIT	1枚	
右矢印	6枚	
左折	8枚	
右折	6枚	
Uターン看板	大小各2	
減速	18枚	
段差	4枚	
移動バイク T0	2枚	T0 背中
モーターバイク T0	前後各5枚	バイク前部、T0 背中
先導	前後各2	バイク前部、T0 背中
最後尾	前後各1	バイク前部、T0 背中
THE END		
パラ選手走行中	3枚	T0 背中
竹ぼうき	15本	各サブチーフ*3本
トラメガ	4	
コーン連結用テープ	2	
ガムテープ	10組	白、赤、黄1組 各サブチーフ*2組
赤白旗	30組	
養生テープ	10個	各サブチーフ*2個
ビニール袋	120枚	アンクルバンド、落下物回収用
ビニール手袋	120組	事故対応用
エマージェンシー ブランケット	15個	リタイア選手用(各ポジション1個)

コース

1. コース図



2. エリア詳細



4. メディカル配置図

救護所・メディカルテント

- ①健康チェックテント ②氷川丸側バルコニーメディカル ③フィニッシュ救護所 ④スタートボート待機場所
 ⑤本牧ふ頭メディカル ⑥赤レンガメディカル ...緊急車両



5. バイクコースタイムテーブル



エイジBIKE① (START&FINISH 地点)						
LAP	パラトライアスロン		スタンダードディスタンス		スプリントディスタンス最終WAVE	
	先頭	最後尾	先頭	最後尾	先頭	最後尾
START	7:27:00	7:42:00	8:22:00	11:07:00	11:42:00	11:57:00
2 Lap	7:44:00	8:12:00	8:37:00	11:33:03	11:57:00	12:27:00
3 Lap			8:52:00	11:59:06		
4 Lap			9:07:00	12:25:09		
FINISH	8:01:00	8:42:00	9:22:00	12:52:00	12:12:00	12:57:00
エイジBIKE② (錦町交差点付近往路)						
LAP	パラトライアスロン		スタンダードディスタンス		スプリントディスタンス最終WAVE	
	先頭	最後尾	先頭	最後尾	先頭	最後尾
First Lap	7:31:20	7:49:48	8:25:54	11:13:50	11:45:54	12:04:48
2 Lap	7:48:20	8:15:51	8:40:54	11:39:53	12:00:54	12:34:48
3 Lap			8:55:54	12:05:56		
4 Lap			9:10:54	12:31:59		
エイジBIKE③ (D突堤内折り返し地点)						
LAP	パラトライアスロン		スタンダードディスタンス		スプリントディスタンス最終WAVE	
	先頭	最後尾	先頭	最後尾	先頭	最後尾
First Lap	7:35:20	7:57:00	8:29:30	11:20:10	11:49:30	12:12:00
2 Lap	7:52:20	8:27:00	8:44:30	11:46:13	12:04:30	12:42:00
3 Lap			8:59:30	12:12:16		
4 Lap			9:14:30	12:38:19		
エイジBIKE④ (錦町交差点付近復路)						
LAP	パラトライアスロン		スタンダードディスタンス		スプリントディスタンス最終WAVE	
	先頭	最後尾	先頭	最後尾	先頭	最後尾
First Lap	7:39:20	8:04:12	8:33:06	11:26:29	11:53:06	12:19:12
2 Lap	7:56:20	8:34:12	8:48:06	11:52:32	12:08:06	12:49:12
3 Lap			9:03:06	12:18:35		
4 Lap			9:18:06	12:44:38		
エイジBIKE⑤ (見晴橋入口交差点復路)						
LAP	パラトライアスロン		スタンダードディスタンス		スプリントディスタンス最終WAVE	
	先頭	最後尾	先頭	最後尾	先頭	最後尾
First Lap	7:41:40	8:08:24	8:35:12	11:30:10	11:55:12	12:23:24
2 Lap	7:58:40	8:38:24	8:50:12	11:56:13	12:10:12	12:53:24
3 Lap			9:05:12	12:22:16		
4 Lap			9:20:12	12:48:19		
エイジBIKE⑥ (ホテルニューグランド前折返し地点)						
LAP	パラトライアスロン		スタンダードディスタンス		スプリントディスタンス最終WAVE	
	先頭	最後尾	先頭	最後尾	先頭	最後尾
First Lap	7:43:20	8:11:24	8:36:42	11:32:48	11:56:42	12:26:24
2 Lap			8:51:42	11:58:51		
3 Lap			9:06:42	12:24:54		
トラジションへ Lap	8:00:20	8:41:24	9:21:42	12:50:57	12:11:42	12:56:24

業務詳細・留意事項

1. 共通事項

前回大会では、段差にハンドルを取られた選手が、コース脇に立っていた警備員と衝突し、警備員が救急搬送される事故が起きた。

【TOとしての心得】

- (1)TOの活動は公正・公平・安全に競技を行うという選手の基本的な権利を守ることである。
- (2)TOは選手が安心して競技できる環境を確保し、選手を保護しトリアスロンの価値を保全するという重要な役割を担っている。
- (3)TOは、選手及び観客から、常に見られていることを意識する。
 - ・ 落ち着いて行動する。
 - ・ 選手、観客への言葉遣いは丁寧に。「ご協力お願いします。ご理解下さい」の精神で。
 - ・ 整理員、警備員と意思の疎通を図る。(事前に周囲への挨拶を徹底ください)
 - ・ レース時間、周回数、トイレの場所、バイクピックアップの時間等答えられるように準備する。
 - ・ 持ち場で起こり得ること(落車した場合、コースミスをした場合等)を事前にシミュレーションしておく。
 - ・ 持ち場を離れる時は、近くのTOに必ず伝える。

【COVID-19 対策】

- ・マスク着用を義務とする(マスクは各自で用意)
- ・ソーシャルディスタンス(2m)を確保する
- ・手指の消毒と洗浄をこまめに行う(消毒液は各自で用意)
- ・必要に応じてフェイスガードおよびビニール手袋を使用する(主催者が用意)
- ・機材の共有は行わない。行う場合は消毒を徹底する
- ・大声の指示やホイッスルは極力避ける

【事故が起きた時の対応】

- ・接触事故や落車、メカトラ(パンクなど)があった場合はすぐに現場へ急行する。
- (1)当事者の保護と後続選手を含めた競技の安全確保を最優先とし、ボランティア、応援者やTOが事故に巻き込まれ2次被害が発生しないよう誘導する。
- (2)当該選手及びバイクをコース端に誘導する。
- (3)競技続行が可能かどうか判断する。
(選手の意思が優先されるが、怪我の度合い等でTOが続行不能と判断する場合もある。)
- (4)怪我の重軽度によって、以下の対応をとる。
 - 選手への対応はマスク、手袋装着の上、行うこと(必要に応じてフェイスガード着用)
 - ・ メディカルテントへ案内する→D 突堤折返し地点(メディカル配置図参照)
救急救命士に声をかける。なお、救命救急士はAEDなどを所持し、マウンテンバイクや徒歩によりコース沿道で待機しています。(ボランティアに呼んでもらうとよい)
 - ・ 選手の意識がない場合、骨折あるいは多量の出血が認められる場合は直接119番に連絡し救急車を呼ぶこと。その後、無線や携帯にてチーフへ連絡し、指示を仰ぐこと。
(怪我の報告をする際は、①レースナンバー②氏名③症状の詳細④事故の場所を伝える。
 - ・ 119番へ対応している人の ①氏名②年令③症状の詳細④事故の場所は必須です
 - ・ その後直ちに事故発生地点、時刻、選手の状態とレースナンバーを確認して大会本部に無線連絡する。

【5月13日(金)のタイムテーブル】

15:00-20:00 TO前日受付(ワークピア横浜「いちよう」)

体温/体調管理チェックシート提出

17:00-19:55 エリート競技ポジション別ミーティング(時刻と会場は各自確認してください。)

【5月14日(土)のタイムテーブル】

5:30 /集合(山下公園内 KnTU テント) → エリート競技

15:45 /山下公園内トランジションバイク出入口付近集合

エリアバイクパートTOミーティング、備品確認

【5月15日(日)のタイムテーブル】

5:30 /集合(山下公園内 KnTU テント)

5:35 /各パート別打合せ・備品の確認・配置

6:00~6:10 /B11 以遠は現地までバス移動(大型バスなので備品も積んでいく)

山下公園出入口付近(マリンタワー前)集合

7:00 /交通規制開始。

公道部分のコース設営(バイクスタートの想定時刻7:30までに)

7:15 /競技開始(パラ、スタンダード(男子、女子)、リレー、スプリント(女子、男子))

エイジラップタイムシミュレーション参照

12:30 /山下公園前周回カットオフ(乗車ライン先を予定)

12:55 /バイク競技終了(コース上の選手はDNF)

13:20 /バイクコース交通規制解除

【距離・コース】

(1) 距離

スタンダード:10km×4周(40km)

スプリント:10km×2周(20km)

パラ:10km×2周(20km)

パラ TRI-1 ラン(ホイールチェア) :5km×1周(5km) バイクコース中間点折返し

(2) コース

山下公園⇒本牧埠頭 D 突堤⇒山下公園

周回数は選手が把握。周回数を聞かれたら、「〇周回したらフィニッシュ」と答える。

【交通規制】

交通規制/7:00~14:00(バイクコースは13:20)

12:30以降は新規に周回コースに入れない。

12:55でバイク競技終了

最後尾にはモーターバイク TO を配置し管理する。

【ペナルティ】

適用ルールは以下を参照のこと。

[itusport.com/competition-rules-2019.pdf](https://www.itusport.com/competition-rules-2019.pdf) (jtu.or.jp)

(バイクパート P60~、ドラフティング関連 P73~)

ドラフティング禁止。ドラフティングゾーンは前走者のバイク前輪先端より後方10m。

並走の場合もドラフティングとなる。

ドラフティングを注意する場合にはストップさせず、ホイッスル⇒ナンバーコール →

(ブルーカード)ペナルティ宣告 → ペナルティボックス。

定点審判員は該当選手に注意を促し、それでも駄目なら無線あるいは携帯でチーフ松村に時間、場所、レースナンバーを連絡すること。→ チーフ松村より本部に連絡。

ペナルティ宣告は審判長権限とする。

【ドラフティング・キープレフトの対応】

- ・ ドラフティングか否かは、
「追い抜く意思を持って前に進んでいるかどうか」「故意に並走していないかどうか」
- ・ ブロッキングか否かは、
「追い抜いたあともスピードを維持し、追い抜き完了後、キープレフトしたか」
- ・ 追い抜く時以外はキープレフトを維持しなければならない。左側追い抜きを発見した場合（もちろん左側追い抜きは禁止だが）追い抜いた選手と同時に、これを誘発した「センター寄り走行の選手」にも注意を与える。（安全走行違反の注意）
いずれも、選手をしっかりと観察して、動いて、声を出して、違反行為を制止する。

【リタイア時の対応】

T0 は、リタイアの意思、レースナンバーと氏名を確認し、選手がはずしたアンクルバンドを回収する。

(アンクルバンド回収時は手袋装着の上、ビニール袋に入れ、袋を閉じること)

- ① T0 はエリアチーフに口頭で報告し、アンクルバンドを渡す。
- ② エリアチーフは本部に無線で以下を報告する。アンクルバンドはレース終了後、本部に届ける。
・レースNo. ・リタイアの理由 ・救護の要否 ・アンクルバンド回収状況
- ③ チーフは「リタイア選手リスト」を作成し、レース終了後 HR に提出する。
- ④ 自力で帰還可能な選手については、歩道を徒歩にて戻ってもらう。
→ T0 が方向を案内する。必要に応じてエマージェンシーブランケットを提供する。

【車両の出庫】

山下ふ頭からの車両出庫の可能性あり。7時までの出庫を原則とするが、遅れる可能性あり。
B4担当 T0 は警備員と協力して誘導する。

9:45～10:15 本牧ふ頭 C 突堤入口から4台の車両移動あり

1車線を車両移動用に占有(コースは3車線から2車線へ)

B15(出庫)B16(入庫)担当T0はボランティア、警備員と協力してコース変更および誘導を行う

【雨天時対応】

※危険エリア

B1折返し、B4復路下り、B14 クランク出入口急カーブ、B17 D 突堤入口急カーブ、D1 D 突堤内右折、D2 D 突堤内左折、D5 D 突堤内折返し

※落車多発地点エリアは、メガトラ、ホイッスル、「減速」注意コールとコース幅減少を行い、スリップ落車を防止し安全走行につなげる。(スポーツ推進委員へ協力要請)

※その他、全体的に平坦な高速コースなので、スリップに注意

【撤収時】

グリーンフラッグを掲げたモーターバイクが最終競技者に追従する。モーターバイク T0 の合図にて撤収作業を実施する。

ボランティア、警備員へも最終競技者通過を案内し、労いの声掛けを実施のこと。
 また、撤収は警察官およびエリアチーフへの確認後に実施すること。
 なお、備品としてエリアへ持ち込んだ備品類は忘れずに本部へ持ち帰ること。
 遠方の T0 の帰還向けに大型バスを用意する予定(詳細未定)

【メカニック、エイドステーション、メディカルテント】

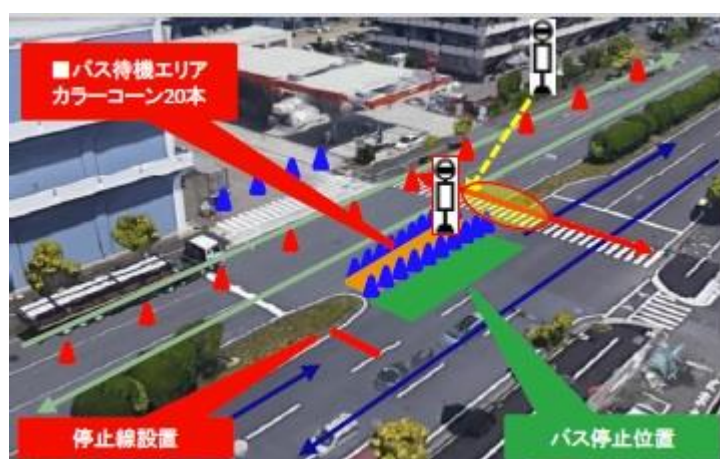
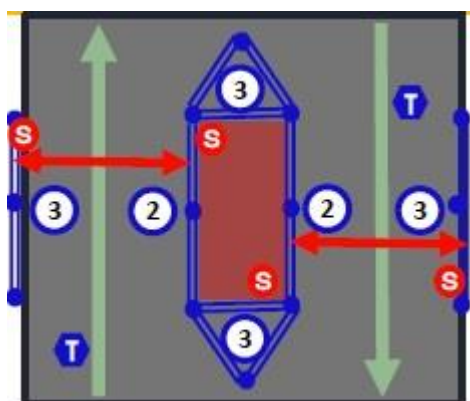
前回までは、レース中も、山下ふ頭内エイドステーション横に、シマノメカニックを配置したが、今年はない。
 バイクエイドステーションはない
 メディカルテントは、D 突堤内折返し地点に1箇所

【横断路対応】

バイクコース上には全部で7箇所の横断路がある

B7、B9、B12、B13、B15、B16、B17

いずれもセンターライン付近に待機エリアを準備し、安全を確認しながら片車線ずつ横断させる。
 基本はT02名+整理員4名。整理員とコミュニケーションを取って、安全かつ速やかに実施する。



※ B16、B17 は海釣り公園方面行きのバス停が移動されるため、案内をお願いします。

【消防車対応】

本牧ふ頭内で災害が発生した場合に、消防車が突堤入口が侵入する。

B11:A突堤、B13:B突堤、D1:D突堤

CCC(緊急時の指令センター)よりT0へ無線連絡が入るので指示に従う。

T0は両側から来る選手を静止して競技を中断する。

警備員と協力して消防車の導線を確保する。

競技再開についても同様にCCCからの指示に従う。

【当日確認事項】

- ・コース内で留まっている車両はないか？
- ・大会運営中、車両移動はないか？
- ・イベントの実施連絡はないか？

2. 各エリアのポイント

【山下公園前～山下橋入口(B1～B4)】 エリアチーフ 篠原永年



B1: パラ(TRI-1)選手のラン(ホイールチェア)フィニッシュや緊急時の医療スタッフを乗せたモーターバイク出入り口として鉄柵の開閉移動があるため、移動する柵へはバナー設置やタイラップ止めは実施しないように設備担当と調整する。

- ・パラ(TRI-1)選手のバイク(ハンドサイクル)フィニッシュの公園入口左折コース設営に注意する
- ・折返し地点を選手にわかりやすく案内するために、手前に案内板を設置する。パラ選手がわかるように低い位置での可視性に注意。TOは「スローダウン」「折返し」のアナウンスを行う。
- ・折返し後にバイクフィニッシュ/周回の分岐がある。手前に案内板を設置する。

B2: 乗車後のスタート/周回合流

- ・走行が安定するよう十分な区間を確保する。衝突を避けるコースづくり
- ・12:30以降は新規に周回コースに入れず、乗車ライン先にて、カットオフ(DNF)を実施する。

B4: 早朝、山下ふ頭からの車両出庫の可能性あり

山下橋へ向かうバイクと山下橋から下りるバイクが対面になるので、コース設営注意

- ※ 乗降車ライン付近の設営はトランジション TO が担当するが、フィニッシュ/周回分岐、スタート/周回合流等、安全性を確保できるよう、バイク TO はアドバイスおよび設営協力する
- ※ 分岐を誤った選手の対応はトランジション TO が担当するが、必要に応じてサポートする

【新山下方面(B5～B10)】 エリアチーフ 水越照夫

B5: 高架で狭いため、TOの配置や落下物の対応に注意
(復路は歩道がなく、塀も低いのでTOは注意)

B7: 横断路対応 → イベント会場、商業施設は開店しており横断が多いこともある。
B5担当TOのトイレ休憩をケアするため、時間を決めて交替する

B9: 横断路対応 → B7ほどの往来はないものと想定される

【A 突堤から中間点(B11～B14A)】 エリアチーフ 鶴見耕市

B11: 消防車がA 突堤に入る際の導線確保と誘導。
両側から来る選手を静止して競技を中断する

B12: 横断路対応

B13: 消防車がB突堤に入る際の導線確保と誘導。

両側から来る選手を静止して競技を中断する

B14A: 中間点で TRI-1 のラン(ホイールチェア)折返しを誘導する

【中間点からD突堤入口(B14B~B17) エリアチーフ 糊澤 誠

B14B: クランク出入口での減速指示

クランク内直線部のボランティアへの指示

B15: 踏切あり(段差はほとんどないがピクトグラムで注意)。横断路。

9:45~10:15 踏切先、横断路手前のC突堤入口から4台車両出庫あり

この間、B16横断路手前までコースは3車線から2車線へ

B16: 横断路。移動したバス停への案内。

9:45~10:15 横断路手前の突堤入口に移動してきた4台の車両入庫あり



B17: 横断路。移動したバス停への案内

D突堤出入口の減速指示

消防車がD突堤に入る際の導線確保と誘導。

両側から来る選手を静止して競技を中断する

【D突堤内(D1~D5) エリアチーフ 浅海 聡

D1: 入堤直進後の右折カーブ(復路は左折)注意

D2: 左折カーブ(復路は右折)注意

D3: 野球場付近の来場者制御(子供が多いので注意)

D4: 段差(往路上り、復路下り)注意

D5: 折返し。減速指示。

折返しポイント設営にあたっては、遠目からでも折返しであることが明確になるように。

エイジパラの選手が折返し箇所で止まった場合、サポートを実施する。

移動バイク: 突堤内の距離が長いので、常時周回して事故を監視する。

※T0 配置のボランティアは遅れて現地入ります。

【モーターバイク】

モーターバイク T0 用のベストを着用し、モーターバイクには T0 用バイクのピクトグラムを装着する。

モーターバイクの待機場所は山下公園駐車場

エイジパラ での対応

- ・エイジバイク並走時の安全確保のため、及び C1 地点で山下公園内へ入る際の鉄柵の移動のコントロールを行うために、TRI-1(ホイールチェアのラン)の選手(3名)の追走を行う。
- ・鉄柵の移動はパラ担当(宮城)とエリアチーフ(篠原)、T0 及び現場スタッフが実施する。)
- ・TRI-1 選手が、ランコース誘導地点(ホテルニューグランド前)に接近していることを、レースナンバーと共に無線でパラ担当(宮城)まで伝える。

最終(バイクコースクリア)対応

エイジバイク閉門後(12:30)の最終選手にモーターバイクで付いて、グリーンフラッグを掲げる。

タンデムで乗り、定点 T0、警備員、整理員に状況を伝達する。

*グリーンフラッグ:全選手がバイク競技を終了

3. 業務別詳細および留意点

1)チーフ、サブチーフ

- ① オペレーションマニュアルの作成
- ② 人員・機材の手配依頼
- ③ T0 への競技運営事項指示伝達

2)エリアチーフ(サブチーフ)

- ① 各エリアに必要な備品を準備し、各エリアへ持ち込むこと。また競技終了後持ち帰ること
- ② 各エリアの T0 出欠状況を把握し、チーフへ報告すること。

3)担当 T0

- ① 選手誘導・安全確保
- ② 緊急車両の導線確保(本牧ふ頭内災害発生時には消防車誘導あり)
- ③ レースナンバー表示の確認
- ④ 一般客誘導・安全確保・大会スケジュール説明
ポイントに観客等の横断路がある場合には、観客や車両を横断させるかどうかの判断等は T0が行う。横断開始/中断の連携方法を決めておくこと。
- ⑤ コース設営修正(業者が設営したものを競技観点で修正)
- ⑥ 警察官、警備員、整理員、ボランティア等スタッフとの意思疎通を行う。
 - ・ 警察官→信号操作
 - ・ 警備員→一般車両の交通誘導
 - ・ ボランティア(スポーツ推進委員)→沿道警備、観客誘導、案内
 - ・ 整理員→交差点などの通行人、観客の誘導

ホイッスルの使用は緊急時のみとし、旗を使用する。
(近隣住民からの苦情が多数寄せられている。)